

マハムニ母子寮

ニュースレター

前期2025年6月期の収支報告

(2025年9月29日)

いつも、温かいご支援をいつもありがとうございます。
皆さまのおかげで前年もマハムニ母子寮を維持することができました。
簡単に現地の収支報告をさせていただきます。

前期2025年6月期までの状況

- 日本からは、2023年6月期の414万円を最後に、2024年6月期は送金することができませんでした。
- その間、現地は自立に向けて頑張りました。2024年6月期は初めて自助努力で156万円を集めました。
- そして、食料品を中心とする多くの現物寄付を取り付けました(米、イモ、石鯛等)。
- その陰には、コロナ前後に献身的に尽力し現地の理解を取り付けた藤元政延氏の努力もありました。
- 2024年後半より大島睦子(現副代表、元協力隊員)も加わり、支援体制も強化されました。
- おかげで2025年5月期は140万円(1万ドル)を送金できました。
- これと現地の自助努力による127万円で前期2025年6月期を乗り切ることが出来ました。

	2023年 6月期	2024年 6月期	2025年 6月期	備考
収入				
日本からの送金	414万円		140万円	2023年期を最後に、2024年期は送金できず、2025年期は1万ドル(140万円)を送金
現地の自助努力(現地での募金)	90万円	156万円	127万円	上記送金ができない中で、徐々に現地の自助努力幅が増えた。これ以外に現物支給も増えた
	504万円	156万円	266万円	
支出				
食料	161万円	120万円	97万円	インフレ10%の中でも、食料の現物支給も増えたため、なんとか支出を抑えている状況
教育関係(人件費、教材、文具他)	125万円	99万円	94万円	なんとか抑えているが、人件費は低水準のバングラにおいても非常に低水準であり厳しい状況
その他	79万円	67万円	76万円	2025年は骨折した子どもの治療費約15万円を含んでいる。実質抑えている状況
	365万円	285万円	266万円	
収支	139万円	▲129万円	0万円	日本からの支援が減っている中で自助努力を重ねなんとか乗り切っている状況
期初現金	42万円	181万円	56万円	
(+)収入	504万円	156万円	266万円	
(-)支出	365万円	285万円	266万円	
(+/-)為替差異		5万円	▲8万円	
期末現金	181万円	56万円	48万円	
在籍生徒数	確認中	85名	88名	
インフレ率	7.70%	9.88%	10.47%	近年も大きなインフレ傾向

今期2026年6月期のここまでの状況(2025年9月時点)

- 2025年8月に170万円(1.2万ドル)を送金しました。
- なんとか施設の維持をしていますが、インフレの中で職員の給料が実質的に下がり続けています。
- 現在12名体制(フルタイム3名、パート9名)で総人件費約6万円/月です。
- 低賃金のバングラデシュにおいても低い水準となっているので、平均で+20%アップしたいと考えています。

来期2027年6月期の見通し

- 上記を鑑みると、2026年8月は200万円(約1.4万ドル)を送金できるようにしたいと考えています。
- 引き続き、現地の自助努力も促していきますが、皆さまからもご支援を賜われましたら幸いです。



東京の赤ひげ堂院長竹内様と代表(松井)



福岡の勝楽寺住職青井様と副代表(大島)

マハムニ母子寮日本連絡所

代表: 松井隆雄 Tel: 090-8840-3717

mail: takao.matsui@recercada.com

郵便局振込: 00190-6-23636

銀行振込: ゆうちょ銀行〇一九店(当座)0023636

マハムニ母子寮関西連絡所

代表: 後藤日出子 Tel: 0792-32-2036

郵便局振込: 00990-8-259339

銀行振込: ゆうちょ銀行〇九九店(当座)0259339